

「平成26年2月大雪(14・15日)」 八王子の記録



八 王 子 市

はじめに

2月14日から降った大雪については、前線を伴った低気圧が発達しながら本州の南岸を東北東に進み、15日未明から昼過ぎにかけて関東地方を通過したことにより、関東甲信地方で、2月8日に続き、2週連続で記録的な大雪となりました。関東地方のほぼ全域で大雪警報が発表され、八王子市においても、市役所本庁舎北側にて50.5cmの積雪量（独自観測）を記録し、自然の脅威を改めて認識させられるものでした。

雪は、解けるまでに時間を要することから、降雪後も除雪した雪、除雪しきれない雪が車道上・歩道上に残り、歩行に支障が出たり、交通機能の麻痺が発生、家屋では、雪の重みにより屋根や雨どい、カーポートなどが破損したほか、パイプハウス、牛舎などの農業施設にも大きな被害をもたらし、市民生活に大きな影響を与えました。

こうした中、市ではバス路線、駅周辺の道路、救急病院周辺などを重点箇所として除雪を実施したほか、被害にあわれた市民に対しては、被災証明書の発行、被災農家への再建にかかる費用の支援など、全力を挙げて対応してきたところです。

また、今回の大雪対応では、市民・企業の方々により、身近な生活道路の除雪が進みました。このような自助、共助による取り組みのほか、公共交通機関や消防、警察、自衛隊などの関係機関との連携が重要であると改めて認識をいたしました。

市では、今回の大雪を忘れることなく、今後の災害対策に活かすため、記録集を発行することにいたしました。市民・企業の皆様におかれましても、自助・共助の推進の参考としていただければ幸いです。

最後に、今回の大雪に際し除雪をはじめ様々な形でご尽力いただいた、市民・企業の皆様をはじめ、関係者の皆様に感謝申し上げますとともに、被害にあわれた方々に心よりお見舞いを申し上げます。

目次

1	八王子の気象状況	1
(1)	概要	1
(2)	積雪量	1
(3)	気象情報（注意報・警報）	2
2	市及び市消防団等の活動状況	3
(1)	概要	3
(2)	市の対応経過	3
(3)	市消防団の対応経過	4
(4)	除雪活動	6
(5)	一時滞在施設	8
(6)	議会の対応	11
3	被害状況	12
(1)	住家等及び農業被害	12
(2)	被災者への主な支援	13
(3)	ライフライン被害	13
(4)	公共施設の被害	15
(5)	救急搬送件数	16
4	結びに	17
《参考1》	《参考1：関東地方の気象状況》	18
《参考2》	《参考2：全国の気象状況》	25
《参考3》	《参考3：降雪対応に関する要望書》	29

1 八王子の気象状況

(1) 概要

平成 26 年 2 月の本市は、寒気の影響で低温となった日が多く、冬型の気圧配置となつて晴れた日が多かったが、数日の周期で低気圧が通過したため、曇りや雨または雪の日もあった。特に 14 日から 16 日にかけては関東甲信地方を中心に過去の最深積雪の記録を大幅に上回る記録的な大雪となつた。また、2 月の月平均気温は 3.1℃と平年より 1.0℃低く、月降水量は 126.5mm と平年の 3 倍程度の値を記録した。一方、月日照時間は 157.0 時間と平年より約 17 時間短かった。

上旬は、3 日にかけて暖気が流れ込み、全国的に気温が高くなつたが、8 日から 9 日にかけては、低気圧が日本の南岸を発達しながら通過したことから、広い範囲で大雪や大雨となつた。

中旬は、14 日から 15 日にかけて日本の南海上を低気圧が発達しながら通過した影響で、関東甲信地方は記録的な大雪となり、本市においても、独自観測ではあるが 15 日午前 4 時時点で最大積雪量 50.5cm を記録し、過去の最大積雪量 44cm (昭和 43 年 2 月 16 日) の記録を更新した。また、山間部では、前週に降った雪の影響もあり、1 m 以上の積雪になつたとの情報も寄せられた。

(2) 積雪量

市内には、気象庁設置の「地域気象観測システム」(アメダス)のほか、市の気象観測装置を市役所本庁舎に設置し、風向、風速、気温、気圧、日照、湿度、雨量などを観測しているが、積雪計の設置がないため、職員が独自で計測を行った。

今回の大雪では、2 月 15 日(土) 4 時に、50.5cm を記録(独自観測)。

2 月 14 日(金)～15 日(土)

(単位：cm)

9 : 00	11 : 00	13 : 00	15 : 00	17 : 00	18 : 00	19 : 00	20 : 00
1.0	4.0	8.0	13.5	20.0	28.0	29.0	30.0
21 : 00	22 : 00	23 : 00	2/15 0 : 00	1 : 00	2 : 00	3 : 00	4 : 00
31.0	31.5	36.5	40.0	45.0	47.0	48.0	50.5

※市役所本庁舎北側にある気象観測露場にて計測

【参考】

2 月 8 日(土) 28cm (独自観測)

(3) 気象情報（注意報・警報）

八王子市の気象注意報・警報の発表状況

日時		発表内容
14日（金）	6時10分	大雪注意報を発表
	17時21分	大雪警報を発表 風雪、雷、着雪注意報を発表
15日（土）	6時43分	大雪警報を解除（風雪、着雪注意報解除） 強風注意報を発表（雷注意報継続）
	11時27分	雷注意報を解除（強風注意報継続）
	14時21分	強風注意報を解除



14日（金）20時ごろの様子
場 所：並木町



14日（金）20時ごろの様子
場 所：横山橋



15日（土）10時ごろの様子
場 所：長房町

2 市及び市消防団等の活動状況

(1) 概要

2月14日(金)午前中からの降雪に伴い、市内各地で通行困難な場所が発生、市民の生命、生活に影響を及ぼすおそれがあることから、市は15日(土)13時に、「雪害対策本部」を設置し、情報提供や除雪などを実施した。バス路線、駅周辺の歩道、救急病院周辺などを重点箇所として優先して除雪を行うとともに、中心市街地、通学路などに凍結防止剤を散布するなどの対応を行った。特に、上恩方(醍醐・降宿)地区や南浅川地区の一部は、積雪量が多く、孤立の危険性が高かったため、上恩方地区では、昼夜を問わず除雪を実施した。

ごみ収集についても、収集困難な地域が多数発生したことを受け、市民の方へ次回の収集日にごみを出していただくよう理解を求めたほか、屋外スポーツ施設などの市施設の一部閉鎖や市内3保健福祉センターの送迎バスの運休などを行った。

山梨方面については、JRの運休や国道20号、中央自動車道が数日間不通となったことから、山梨方面へ帰れなくなった方のために、子安市民センターを臨時的に一時滞在施設(帰宅困難者を受け入れる施設)として開設し受け入れを行った。

また、雨どいやカーポート、農業用パイプハウスなどの損壊も多く発生、それらの事実を証明する被災証明書の発行を行った。

(2) 市の対応経過

13日(木)

- 17:17 ・「降雪にご注意を」防災情報メール、ツイッター、フェイスブックにて情報提供
- 17:23 ・「降雪にご注意を」ホームページ・モバイル版にて情報提供

14日(金)

- 16:38 ・「降雪に関する情報及び事故防止について」庁内メール通知
- 17:21 ・大雪警報発表、風雪、雷、着雪注意報発表に伴い、緊急連絡態勢を発令
 - ・随時「大雪に関する情報」「大雪に関する交通情報」を防災情報メール、ツイッター、フェイスブック、ホームページ・モバイル版にて情報提供
 - ・八王子駅北口マルベリーブリッジの除雪、凍結防止剤散布
 - ・南大沢駅、堀之内駅周辺の歩道除雪

15日(土)

- ・13時に雪害対策本部を設置(関係部にて、現状把握、情報収集・提供、除雪体制等の協議)、他部については、緊急連絡態勢
- ・資器材の所有量から算定し各部に動員要請(75名)
- ・八幡町(グルメシティ付近)のアーケード倒壊に伴う迂回路の確保、八王子駅、東放射線アイロード、東海大学八王子病院周辺の除雪

16日（日）

- ・各部からの動員（78名）
市役所周辺の歩道、各施設における除雪
- ・駅周辺、主要幹線道路、救急病院を優先的に除雪

17日（月）

- ・駅周辺、主要幹線道路、山間部を優先的に除雪
- ・雪害対策本部会議開催（除雪状況、ごみ収集、一時閉鎖施設、小中学校の休校・始業繰り下げ、一時滞在施設の確保、今後の除雪等）
これ以降、3月13日までに雪害対策本部会議を計6回開催
- ・JR中央本線四方津駅以西について、運転再開の目途がたたないことから帰宅困難者対策として、子安市民センターを臨時的に一時滞在施設として開設を決定
- ・防災行政無線にて「除雪時のお願い」を放送、以降、適宜放送

18日（火）

- ・駅周辺、主要幹線道路、山間部を優先的に除雪
- ・各施設の除雪
- ・48校の通学路に凍結防止剤散布（19日は10校）
- ・災害により被害を受けたことを証明する「被災証明書」の発行開始

3月13日（木）

- ・雪害対策本部会議開催（被害状況、これまでの対応状況、今後の体制等）
各種対応の収束、施設等の平常化に伴い、雪害対策本部を廃止し、各部による体制となる

※除雪、各施設の応急対応にあたり、職員総動員数は、延べ2,078名

※14日以降、中心市街地で凍結防止剤散布

※随時、補修センターに加え市内13事務所でも市民向けに凍結防止剤を配布

※雪害対策本部会議開催後には、市議会及び報道機関に会議内容についての情報を発信

（3）市消防団の対応経過

14日（金）

- 17:09 ・消防団器具置場及び消防水利付近の除雪
- 17:21 ・大雪警報発表、風雪、雷、着雪注意報を発表
- ・副団長参集

15日（土）

- ・両界橋水門止水処理対応
- ・倒木処理対応など

主な活動内容

- ・ 倒木処理
- ・ ブロック塀の危険排除
- ・ 山間部における除雪
- ・ 市内各所、消防水利等の除雪

※2月14日（金）～17日（月）の4日間で、延べ2,254名の消防団員出動



除雪中の消防団員



倒木処理中の消防団員



消防水利（防火水槽）付近を除雪中の消防団員

(4) 除雪活動

市内では、記録的な大雪に伴う交通網の途絶により、移動手段がなくなったことで、物流機能が低下し、市民生活に影響をもたらした。

市では、関係機関、委託業者などと連携し、日夜市内の除雪にあたった。また、市内に住む大学生もボランティアとして参加し、施設の除雪を行った。

主な除雪路線

駅周辺：八王子駅、京王八王子駅、マルベリーブリッジ、とちの木デッキ
西八王子駅、高尾駅、南大沢駅、堀之内駅など

バス路線、緊急輸送道路、主要幹線道路：北大通り、桑並木通り、
かすみ学園通り、白山通り、
久保山中央通り、万葉けやき通りなど

救急病院へのアクセス道路：東海大学八王子病院

東京医科大学八王子医療センター

小児・障害メディカルセンター など

山間部：上恩方（醍醐、降宿）地区、南浅川地区



19日（水）13時ごろの除雪前の様子
場 所：上恩方地区



19日（水）13時ごろの除雪中の様子
場 所：上恩方地区



17日（月）15時ごろの除雪中の様子
場 所：JR八王子駅前



24日（月）14時ごろの除雪中の様子
場 所：万町

ア 業者委託による除雪

- ・ 除雪路線数 134 箇所
- ・ 除雪延長 約 92 km

イ 市職員による除雪

- ・ 除雪路線数 178 箇所
- ・ 除雪延長 約 56 km
- ・ 調査路線数 177 箇所

ウ 凍結防止剤使用数

- ・ 700袋



除雪作業前に行われたミーティングに参加する職員
場 所：市役所本庁舎内（元本郷町）



凍結防止剤を使用済のペットボトルに入れている様子
場 所：中野補修センター内（中野上町）



ペットボトルに入った凍結防止剤をまいている様子
場 所：八王子駅北口（マルベリーブリッジ）



学生ボランティアによる除雪
場 所：コニカミノルタサイエンスドーム（大横町）

エ 市民からの問い合わせ・要望など

記録的な大雪を受け、市民からはさまざまな問い合わせ・要望をいただいた。市では、こうした要望を受け止め、今後の雪害を始めとする防災対策につなげていく。

主な問い合わせ・要望内容及び件数

道路（住宅地を含む）の除雪	約 500 件
除雪体制全般	約 20 件
道路への雪捨て注意の周知	約 60 件
雪捨て場の確保	約 50 件
凍結防止剤	約 30 件
除雪車の購入	約 20 件
路面凍結	約 20 件
冠水	約 20 件
破損	約 20 件
枝折れ、倒木	約 20 件
積雪量	約 50 件
一時滞在施設	約 10 件

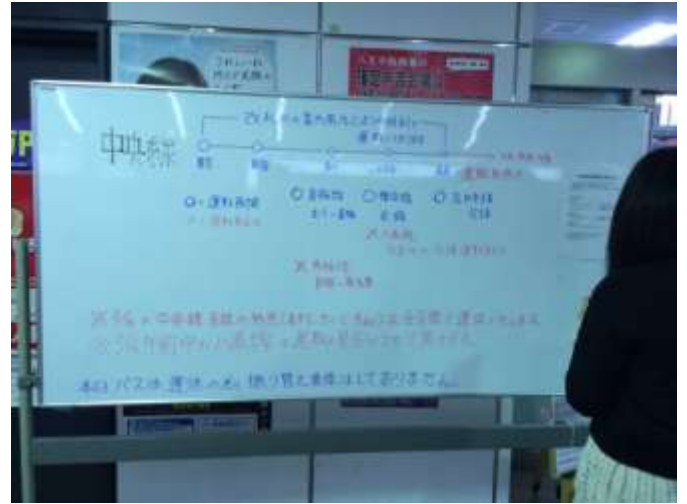
（重複意見あり）

（5）一時滞在施設

ア 一時滞在施設の開設経過

2月17日（月）15時00分 雪害対策本部会議において、JR中央本線四方津駅以西の運休に伴い、帰宅困難者対策として、子安市民センターを臨時的に一時滞在施設とすることに決定。

- ・開設期間：平成26年2月17日（月）18時00分から18日（火）9時00分まで
- ・提供室：和室を使用
- ・周知方法：JR八王子駅、インフォメーションセンターにて案内
防災課にて案内
防災情報メール配信
ホームページ掲載
ツイッター、フェイスブック



16日(日)12時ごろの様子
場 所：JR八王子駅

一時滞在施設として開設した子安市民センター
場 所：子安町



イ 一時滞在施設の開設状況 (開設1日目)

2月17日(月)

一時滞在施設名	町 名	開設時間	帰宅困難者入所状況		
			21:35	22:20	2/18 4:50
子安市民センター	子安町	18:00~翌日9:00	1(男)	1(男)	2(女)

ウ 供給物資

毛布(枚)	食糧(食分)	ミネラルウォーター (2リットル/本)	フロアマット(枚)	備考
20	25	—	—	座布団

※食糧については、各自で用意することとなったため未使用

エ 帰宅困難者の退所状況

2月18日（火）

一時滞在施設名	町名	開設時間	閉鎖時間	退所状況	
				9:00	9:15
子安市民センター	子安町	前日 18:00～9:00	9:15※2	2（女）※1	2（男）

※1 女性2名については、談話スペースに移動後、10時15分ごろまで滞在

※2 男性2名の退所をもって閉鎖

オ 一時滞在施設の開設状況及び閉鎖（開設2日目）

JR中央本線四方津駅以西について、運転再開の目途が立たないため、引き続き開設。

2月18日（火）

一時滞在施設名	町名	開設時間	帰宅困難者入所状況				
			18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
子安市民センター	子安町	18:00～翌日9:00	—	—	—	—	—

※平成26年2月18日（火）20時ごろ JR中央本線（四方津駅～大月駅～甲府駅）の運転再開に伴い、22時00分に一時滞在施設を閉鎖。

カ 帰宅困難者の内訳

No	住所	性別	年齢	入所日時	どこで知ったか	備考
1	山梨県	男	67	2/17 21:35	防災メールを見た会社の従業員から	・市内電気店勤務 ・3日間ホテルで宿泊後、入所
2	山梨県	男	32	2/17 22:20	2日前に防災課へ問い合わせた八王子市在住の知人から	・御茶ノ水勤務
3	山梨県	女	23	2/18 4:50	ツイッター	・インターネットカフェの設備点検に伴い入所
4		女	20			

(6) 議会の対応

ア 常任委員会の中止を決定

議会では2月16日、大雪対応を優先して進めるため、2月17日に開催予定の総務企画委員会、厚生委員会並びに2月18日に開催予定の文教経済委員会、都市環境委員会の中止を決定した。

イ 災害対策議会本部設置

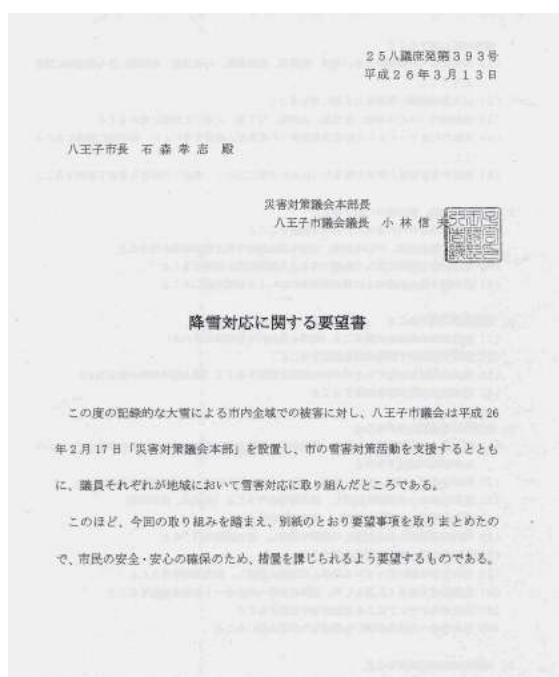
2月17日、「災害対策議会本部（本部長：議長）」を設置し、市が行う大雪対応を支援するとともに、議員それぞれが地域において降雪対応の取り組みを進めた。

3月13日、この間の降雪対応を踏まえ、災害対策議会本部長から市長に対し、市民の安全安心を確保するための措置として、12区分49項目からなる「降雪対応に関する要望書」が提出され、同本部は解散した。

提出された12区分については、以下のとおり。

- ①除雪対応に関する事
- ②雪の仮置き場、雪の処分に関する事
- ③対策本部に関する事
- ④協力体制の構築に関する事
- ⑤公共交通機関に関する事
- ⑥情報収集・情報提供に関する事
- ⑦除雪用重機や除雪車（機）等の確保に関する事
- ⑧罹災者に関する事
- ⑨市民への意識啓発に関する事
- ⑩安全対策に関する事
- ⑪大雪・雪害対策マニュアルの作成に関する事
- ⑫その他

※詳細内容については、「参考3：降雪対応に関する要望書」参照。



3 被害状況

(1) 住家等及び農業被害

ア 住家等内訳（被災証明書発行より）

住家一部損壊 114 棟

非住家 13 棟

カーポート 127 件

その他 54 件

※非住家：店舗、工場、寺など

※その他：アーケード、車、フェンス、物置、パイプハウスなど

被災証明書発行件数 282 件（平成 26 年 5 月 27 日現在）

※証明書発行の際、複数の被害項目と合わせて発行している場合があり、必ずしも被災内訳とは合わない。



商店街のアーケード落下状況
場 所：八幡町（本郷横丁）付近



商店街のアーケード落下物撤去状況
場 所：八幡町（本郷横丁東）付近



住宅街でのカーポート被害
場 所：元本郷町

イ 農業被害内訳（平成 26 年 5 月 9 日現在）

被害農家数 102 農家

被害面積 32,161 m²

パイプハウス、牛舎等 239 棟



農業施設（パイプハウス）の被害状況
場 所：上恩方町



農業施設（パイプハウス）の被害状況
場 所：長沼町

(2) 被災者への主な支援

ア 財政支援

降雪により被害を受けた農家を支援するため、パイプハウス等の解体・撤去、再建費用に対する補助及び農家を手助けするボランティア活動費について、直ちに3月議会に上程し補正予算3億4,000万円を計上、議決後は関係機関と総力を挙げて支援を開始した。

イ 生活支援

上恩方地区の一部では、水道管（簡易専用水道）の一部凍結により、入浴が困難な世帯があり、市では、夕やけ小やけふれあいの里内の宿泊施設（おおりの家）の浴場を無料開放した。

(3) ライフライン被害

ア 電気

発生日時	2月15日（土） 8時03分
停電地域	小津町、上恩方町、下恩方町、川町、西寺方町方面
停電原因	降雪による影響
停電件数	1,225軒
復旧時刻	2月15日（土） 10時10分から順次復旧

イ 鉄道

<JR中央快速線・中央本線>

運行状況	一時運転見合わせ（中央快速線は2月19日午後、中央本線は20日初電より通常運転に戻る）
------	---

<京王線>

運行状況	一時運転見合わせ（2月16日午後には全線運転再開し通常運転に戻る）
------	-----------------------------------

<多摩都市モノレール>

運行状況	一時運転見合わせ（2月15日中には通常運転に戻る）
------	---------------------------

ウ バス

<西東京バス>

運行状況	一時運休（2月24日には全路線通常運行に戻る）
------	-------------------------

<京王バス>

運行状況	一時運休（2月22日には全路線通常運行に戻る）
------	-------------------------

<神奈川中央交通>

運行状況	一時運休（2月19日には全路線通常運行に戻る）
------	-------------------------

<はちバス>

運行状況	一時運休（2月27日には全路線通常運行に戻る）
------	-------------------------

エ 道路

<高速道路及び一般道路の状況>

種 別	場 所
通行止め 又は流入規制	【高速道路】 中央自動車道・圏央道 【一般道】 国道16号（一部区間流入規制） 国道20号（八幡町～追分町間） （大垂水峠八王子南BP分岐交差点～千木良備蓄基地間） 陣馬街道（上恩方町上案下～和田峠間） 山田宮の前線（上川橋～美山小学校東交差点間）



国道20号線通行止状況
場 所：本郷横丁交差点付近



市内の道路状況
場 所：台町付近



繁華街の道路状況
場 所：横山町付近

オ ごみ収集

積雪の影響で、道路状況によっては、ごみ・資源物の収集が困難な地域が多数発生する可能性があることから、防災行政無線、防災情報メール、ツイッター、フェイスブック、ホームページにて、収集が困難な地域は、次回の収集日に収集する旨の広報を行い、市民に協力を求めた。

2月17日（月）から数日間において、主に西部地域などで路面の凍結や道幅の狭隘により収集車が通行できない地域があったほか、集積所やファミリードラムの周辺に大量の積雪がある集合住宅などがあり、ごみ・資源物の収集が困難となった地域・箇所が発生した。

(4) 公共施設の被害

施設名等	被害
市民センター等	市民センター体育室雨漏り
芸術文化会館	芸術文化会館駐車場屋根損壊
市民部事務所	公用車ルーフ陥没、ワイパー破損
戸吹湯ったり館	閉鎖（2月17日から再開）、駐輪場屋根破損
保健所	駐輪場屋根破損
保育園・児童館・学童保育所	一部損壊等（保育園3園 児童館1館 学童保育所3所）
観光施設	夕やけ小やけふれあいの里設備一部損壊 滝山城跡内施設屋根損壊
清掃工場	戸吹最終処分場屋外屋根崩落 北野清掃工場吸排気ファンダクトより浸水
北野衛生処理センター	駐輪場屋根損壊
公園・緑地	公園施設損壊 5公園 倒木・枝折れ 10公園 七国公園ドッグラン閉鎖（3月3日から再開）
交通公園（東浅川・清川）	東浅川交通公園閉鎖（2月21日から再開） 清川交通遊園閉鎖（2月17日から再開）
中野補修センター	倉庫兼作業場屋根破損及び雨どい落下

小中学校	体育館雨どい・雪止め破損（落下）、プール日よけ屋根損壊、駐輪場屋根損壊等（小学校 33 校 中学校 17 校） 14 日始業繰り下げ（小学校 2 校） 14 日終業繰り上げ（小学校 16 校、中学校 8 校） 17 日休校（小学校 8 校、中学校 6 校） 17 日始業繰り下げ（小学校 8 校、中学校 2 校） 中学校給食の提供中止（2 月 19 日から再開） 移動教室の延泊又は日程変更 教育フォーラム中止
クリエイトホール	雨漏り及び空調設備故障
屋外スポーツ施設・体育館	閉鎖（屋外スポーツ施設 2 月 22 日から順次再開、市民体育館 2 月 16 日、甲の原体育館 2 月 17 日から再開）

※駐車場のみ閉鎖は除く

(5) 救急搬送件数（八王子消防署管内、急病等一般搬送含む）

日付	2/15	2/16	2/17	2/18	2/19	2/20	2/21
件数	117 件	100 件	142 件	96 件	84 件	78 件	64 件
日付	2/22	2/23	2/24	2/25	2/26	2/27	2/28
件数	72 件	67 件	79 件	81 件	81 件	73 件	79 件

※H25 年中の平均 約 73.2 回／日

4 結びに

本市においても、過去に例を見ない大雪となった今回の対応にあたっては、先にも記載したように、市民の皆様や市議会からも様々なご意見やご要望をいただいた。市としても、今回の対応において、情報提供や除雪などに関し様々な課題や教訓を得たところである。

例えば、情報提供に関しては、防災行政無線や防災情報メールに加え、近年導入したツイッターやフェイスブックなど様々な方法により、市民の方へ情報提供を実施したものの、全ての方へ情報を迅速に伝えるという点では課題が残った。

また、大雪などで公共交通機関が麻痺し、徒歩以外による移動が困難な状況下において、市施設の機能を迅速に回復するために、市内各地に在住する職員が在住地域で対応を行う仕組みを構築することの重要性が挙げられる。

次に、除雪に関しては、救急病院、バス路線などの主要幹線等を重点的に行ったが、人力では限界がある一方、活用できる資機材にも限りがあり、かなりの時間を要してしまった。また、雨と違い一定期間残る雪では、除雪した道路に雪をまかれることで、再度通行の妨げになるなど、雪の処理方法や雪の置き場についてもより一層の対応が必要であった。

そのほか、市民の重要な交通手段であるバスについても、運行状況や復旧に関する情報を共有するために、バス事業者との連携体制をより強固にすることなどが挙げられる。

今回の一連の対応を「平成26年2月大雪(14・15日)八王子の記録」としてまとめ、組織体制や資機材の拡充等について検討し、ソフト・ハード両面からの防災対策の推進を図っていく。

《参考 1：関東地方の気象状況》

(日本気象協会「気象トピックス 2014年3月号」より抜粋)

2月14日～15日首都圏で再び記録的な大雪

2月14日～15日にかけて、本州の南海上を低気圧が急速に発達しながら東北東へ進みました。このため、関東地方では沿岸部を除いて雪で、内陸部を中心に2月8日～9日の大雪を上回る記録的な大雪となり、山梨県でも観測史上1番の積雪深となりました。

この大雪で落雪や屋根の崩落による死傷者のほか、道路が封鎖され孤立したり、電車や自動車の立ち往生、商品の品薄などが発生しました。



図1：主な気象官署の2014年2月14日～15日の最深積雪

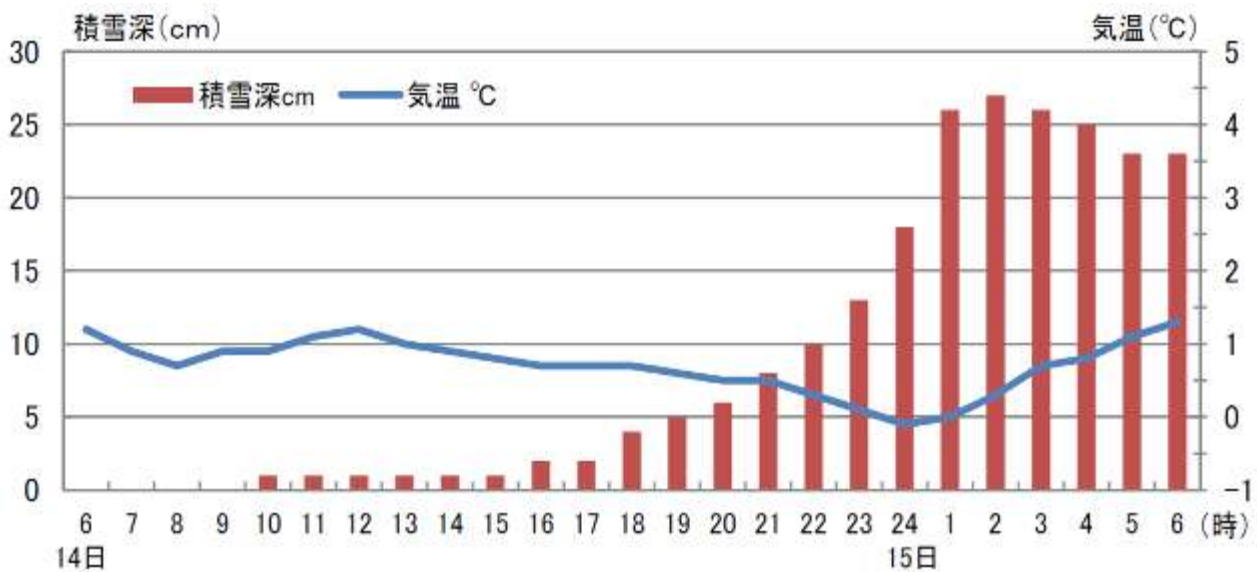


図2：東京(大手町)の2014年2月14日6時～15日6時の積雪深と気温

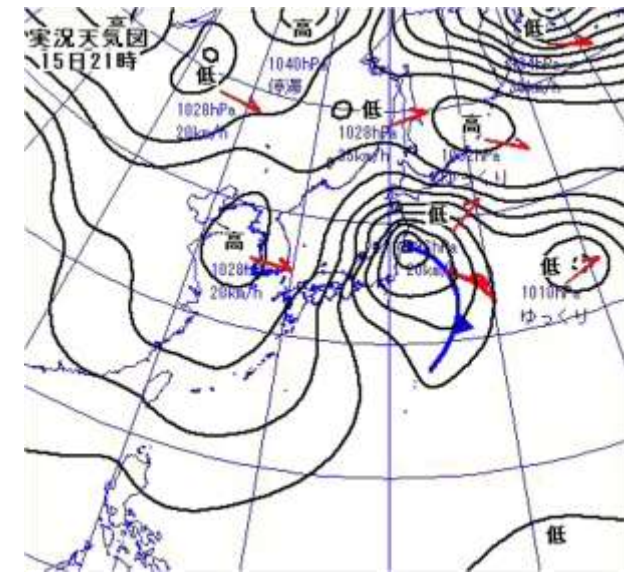
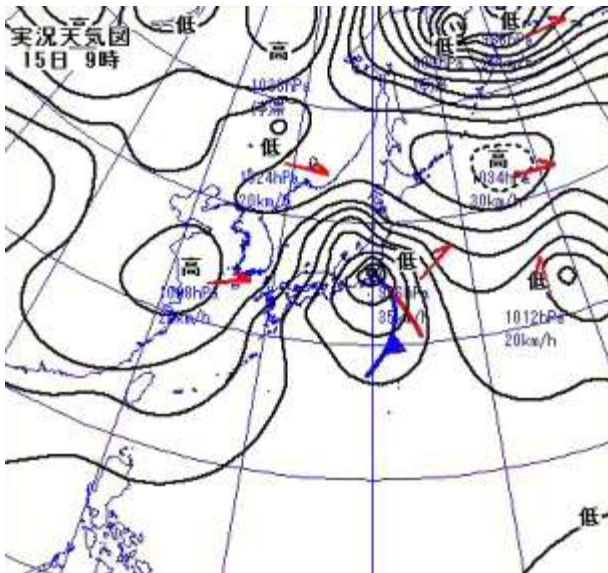
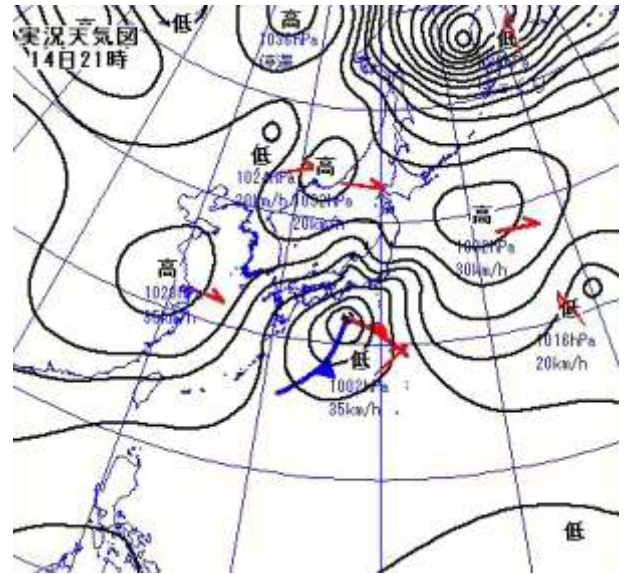
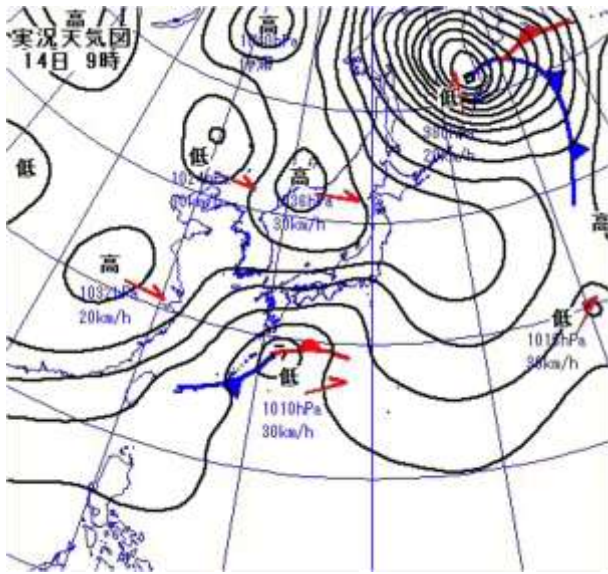


図3：2014年2月14日9時～15日21時の12時間ごとの地上天気図

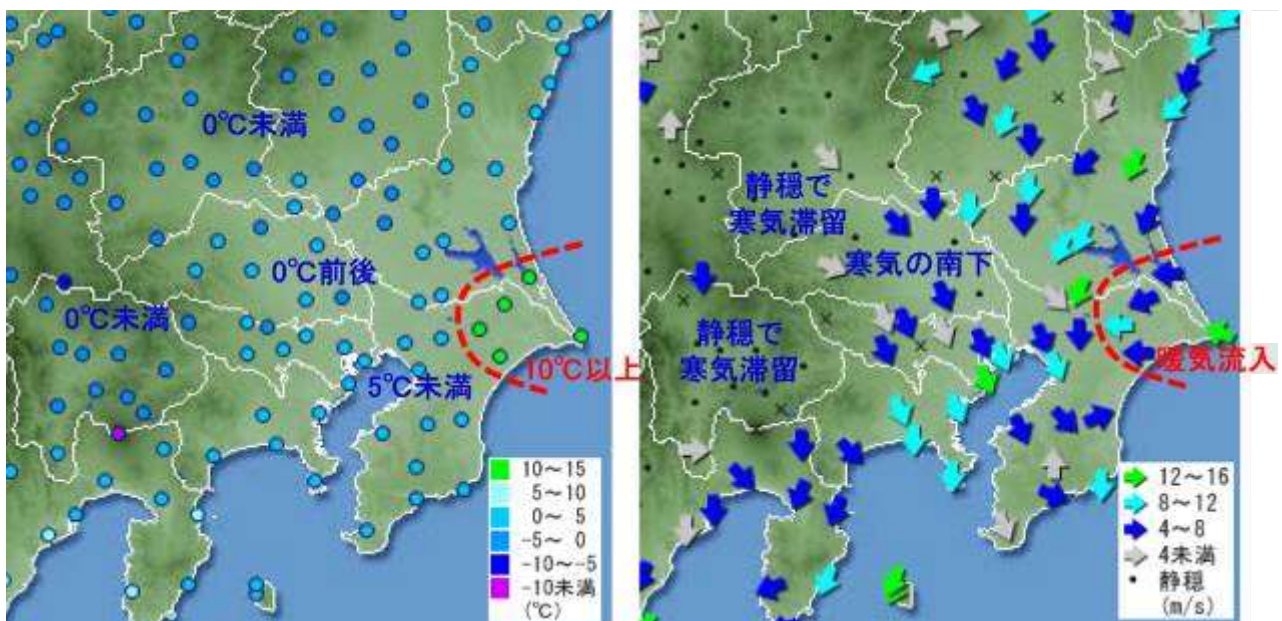
2月14日～15日の記録的な大雪の主な原因

大雪の原因として「寒気の滞留」と「記録的な降水量」が挙げられます。

下図は、2月15日3時のアメダス気温と風向風速です。低気圧の接近で千葉県北東部では暖気(東風)が入り10℃を超えましたが、栃木県と群馬県では、ほぼ全域で0℃未満で「寒気が滞留」していました。この滞留した寒気は北北西の風で関東南部に運ばれ、東京都や神奈川県を抑制しました。なお、100cmを超える積雪となった甲府は、盆地のため地形的に寒気の滞留がより起こりやすくなっています。

さらに、表2のように降水量は2月としては記録的なものでした。

この様に、内陸を中心に記録的な大雪となった主な原因は「寒気の滞留」と「記録的な降水量」と言えます。



図：2014年2月15日3時のアメダス気温と風向風速

表1：2014年2月8日、9日、14日、15日の日降水量

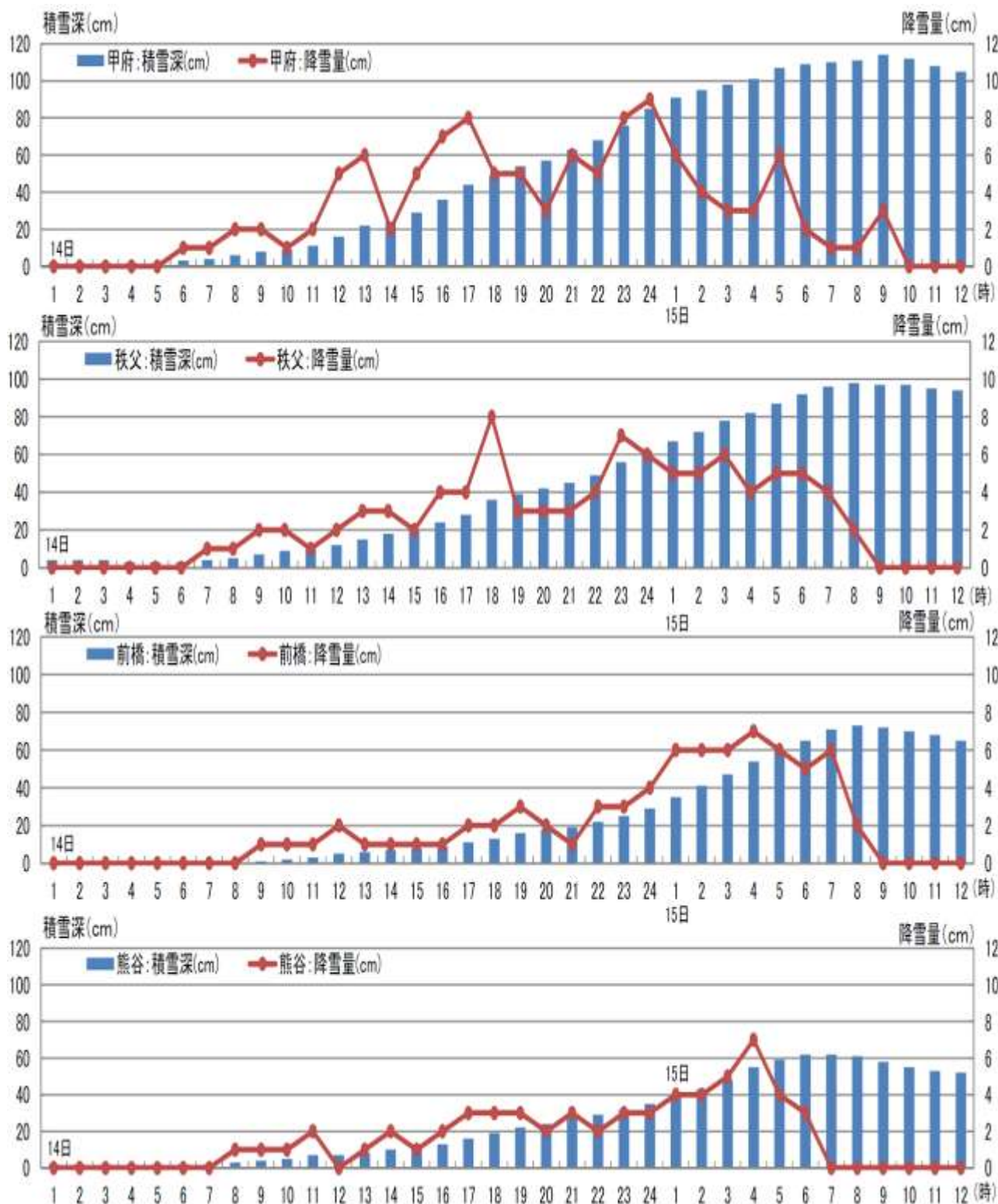
	東京	横浜	千葉	熊谷	秩父	宇都宮	水戸	つくば (館野)	前橋	甲府	河口湖
2月8日	29.5	33.0	43.0	38.0	38.5	11.5	32.5	28.5	26.5	39.0	60.5
2月9日	1.5	1.0	3.0	0.5	2.0	1.0	5.0	3.5	0.5	0.0	0.0
2月14日	28.5	36.0	35.5	36.0	49.0	8.0	0.5	5.5	35.0	58.0	65.0
2月15日	67.5	44.5	58.5	104.0	68.5	67.5	142.5	110.0	94.0	40.5	43.0

表2：2月15日に2月の24時間降水量の日最大値を更新した地点（関東、山梨県）

都道府県	地点	更新した値		統計開始年	都道府県	地点	更新した値		統計開始年	
		mm	時分(まで)				mm	時分(まで)		
茨城県	中野	130	24:00	1978年	埼玉県	寄居	108.5	11:20	1977年	
	日立	141	24:00	1976年		熊谷*	136.5	11:20	1976年	
	笠間	135	23:40	1976年		上吉田	118.5	10:40	1978年	
	水戸*	143	23:40	1976年		鴻巣	117	12:50	1977年	
	古河	77	12:20	1977年		久喜	119	12:20	1977年	
	下館	85.5	23:40	2002年		三峰	122	10:10	1976年	
	柿岡	107	23:00	1977年		秩父*	113.5	10:30	1976年	
	美野里	112.5	22:50	1976年		浦山	82.5	7:10	1978年	
	下妻	83.5	20:10	1976年		ときがわ	107.5	11:10	2001年	
	鉾田	107.5	22:10	1978年		鳩山	112	11:00	1978年	
	坂東	96.5	11:50	1977年		さいたま	83.5	11:30	1977年	
	つくば(館野)*	114	21:40	1991年		越谷	100.5	11:30	1977年	
	土浦	86	22:30	1977年		所沢	110.5	10:00	1977年	
	江戸崎	109	16:00	1977年		小河内	117	10:00	1976年	
栃木県	鹿嶋	112.5	14:50	1976年	東京都	小沢	106	9:50	1978年	
	龍ヶ崎	100.5	19:00	1977年		青梅	126.5	10:40	1976年	
	五十里	75.5	16:00	1976年		府中	99	10:00	1977年	
	土呂部	104.5	16:40	1978年		世田谷	95.5	11:20	1976年	
	足尾	107	16:30	1980年		東京*	92	10:10	1976年	
	宇都宮*	72	13:00	1976年		江戸川臨海	68	10:00	1976年	
	葛生	112	17:50	1976年		香取	105	12:50	2000年	
	真岡	80.5	16:00	1978年		東庄	92	15:00	1976年	
	足利	98.5	17:40	1981年		船橋	91.5	15:40	2000年	
	佐野	96.5	17:20	1978年		佐倉	99.5	15:00	1976年	
	栃木	71	17:00	1981年		成田	148.5	12:50	1976年	
	小山	86	15:40	1978年		千葉県	銚子*	135	12:30	1976年
	藤原	60.5	12:20	1978年			横芝光	134	12:10	1976年
	みなかみ	80.5	12:30	1978年			千葉*	94	14:40	1976年
片品	77.5	12:20	1978年	牛久	116.5]		9:20	1978年		
草津	128.0]	21:50	1978年	坂畑	148		8:50	1978年		
沼田	100.5	12:20	1978年	鋸南	132.0]		11:10	1976年		
中之条	89	14:10	1976年	鴨川	143		7:50	1976年		
田代	70.5	11:40	1978年	勝浦*	253.5		6:40	1976年		
榛名山	97.5	13:10	1979年	神奈川県	相模湖		102	13:00	1976年	
前橋*	124.5	13:30	1976年		海老名		97.5	9:20	1976年	
黒保根	92.5	11:40	1979年		横浜*		79	10:30	1976年	
桐生	105.5	15:30	1976年		辻堂		71	11:00	1992年	
上里見	98.5	12:30	1978年		大泉		79.0]	12:10	1978年	
伊勢崎	133	13:40	1999年		韭崎		93	9:20	1976年	
西野牧	105	12:50	1978年		甲府*	93	10:10	1976年		
藤岡	107.5	13:10	1976年		山梨県	勝沼	59.5]	6:20	1978年	
館林	100	17:40	1979年			大月	73.0]	5:30	1978年	
神流	107.5	11:00	1978年			上野原	123.5]	12:20	1978年	
]: 欠測あり						切石	123.5	9:20	1978年	
: 気象台等の地点						河口湖	108.0]	5:30	1976年	
東京都は島嶼部を除く						山中	142	11:10	1978年	

(気象庁資料より作成)

2月14日～15日の積雪深と降雪量のグラフ（甲府、秩父、前橋、熊谷）



図：2014年2月14日1時～15日12時の積雪深と降雪量のグラフ（甲府、秩父、前橋、熊谷）

2月14日～15日の記録的な大雪の被害状況（関東、山梨県）

孤立状況(内閣府調べ：2月16日18:00現在)

○山梨県河口湖町

- ・ 除雪が追いついていないため、町内全体の多くの住宅が家から出られない状況。
- ・ 県道等において雪崩が発生しており、さらに移動制限される箇所が増えている状況。
- ・ 現在、除雪に全力を挙げているところであり、個別の孤立状況は把握できていない。
- ・ 【精進レイクホテル】
- ・ ホテル宿泊客等約90名、その周辺に約60名計150名孤立状態。
- ・ 今朝、自衛隊により空輸で食料と水を供給済み。
- ・ 孤立解消は時間がかかるが、通信手段は確保できている状況。

○山梨県北杜市

- ・ 国交省や自衛隊にも除雪をお願いしているが幹線道路の除雪も追いついていない。
- ・ 個別の孤立の状況は把握できていない。

○山梨県身延町

- ・ 国道52号で中学生計約250人を乗せたバス7台が雪で立ち往生し、生徒や教職員が近くの公民館3か所に避難した。国道300号のトンネル内でもバス3台が足止めとなり、別の生徒らが車内で一夜を明かした。
- ・ 除雪に全力を挙げているが、全く追いついていない。
- ・ また、広域で停電も発生しており、電話が通じない集落もあるので、個別の孤立の状況は把握できていない。

○山梨県山中湖村

- ・ 雪かきが間に合わず、家から出られなくなっている住民が多数いる。
- ・ 住民のほか観光客も旅館、ホテルに留まるもしくは車の中で往生している。
- ・ 近隣の避難所に入っている方もいる。
- ・ 静岡へ向かう国道138号の除雪について、山梨側の除雪作業は進んでいるが、静岡側の除雪ができていないようだ。
- ・ 静岡の事務所とも連絡が取れない状況なので、なんとかしてほしい。
- ・ 県から毛布等の物資供給はあったが、長引くと食料等がどうなるかというところ。
- ・ 除雪機の燃料が不足しそうな状況。

○山梨県早川町

- ・ 665世帯1,183人が暮らしているが、町に通じる県道などが通行止めとなっていて町への出入りができない状態。雪が深いため思うように除雪作業が進んでいない。
- ・ 町内の雨畑地区ではおよそ160世帯が14日から停電している。

○埼玉県秩父市

- ・ 156世帯275名が孤立。
- ・ 県道中津川線仙石山トンネル内（6台15人）、同出合トンネル内（2台3人）、国道140号黒文字橋付近（5台7人）が救援を待っている状況（※15日夕刻へリにより食糧・水を搬送）。大滝・太陽寺（宿泊客8人、関係者2人）が孤立。

○東京都檜原村

- ・ 檜原村の一部が大雪のために孤立。

<死者の状況>

【群馬県】

- ・ 前橋市でパイプハウスが潰れ生き埋めとなった男性死亡（2月15日）
- ・ 伊勢崎市で倒壊した車庫の屋根の下敷きとなり56歳男性が死亡（2月15日）
- ・ 藤岡市で倒壊したカーポートの下敷きとなり53歳男性が死亡（2月15日）
- ・ 富岡市でブラック倒壊による頸部圧迫で79歳男性が死亡（2月15日）
- ・ 中之条町で雪に囲まれた車内で一酸化炭素中毒となり43歳男性が死亡（2月15日）
- ・ 川場村で雪に埋もれた車内で発見された37歳男性が死亡（2月15日）
- ・ 南牧村で車中で仮眠中、一酸化炭素中毒により52歳男性が死亡（2月14日）

【埼玉県】

- ・ 加須市で崩落したベランダ屋根の下敷きとなり67歳女性が死亡（2月15日）
- ・ 深谷市で上部からの落雪により70歳女性が死亡（2月15日）
- ・ 横瀬町で上部からの落雪により78歳男性が死亡（2月16日）

【山梨県】

- ・ 富士河口湖町で県道で倒れていた53歳女性が死亡（2月15日）
- ・ 北杜市で48歳男性が凍死（2月15日）
- ・ 中央市で74歳男性が車内に閉じ込められ、一酸化炭素中毒で死亡（2月15日）
- ・ 富士吉田市で70歳代女性が落雪の中で発見（2月18日発見）
- ・ 笛吹市で76歳男性が車内にて一酸化炭素中毒で死亡（2月17日発見）

《参考 2 : 全国の気象状況》

(平成 26 年 2 月 21 日付気象庁「発達した低気圧による大雪・暴風雪(速報)」より抜粋)

(1) 概要

2月13日に発生した低気圧が、16日にかけて発達しながら本州の南岸を北東へ進んだ。その後、低気圧はさらに発達しながら三陸沖から北海道の東海上に進み、19日にかけて千島近海でほとんど停滞した。

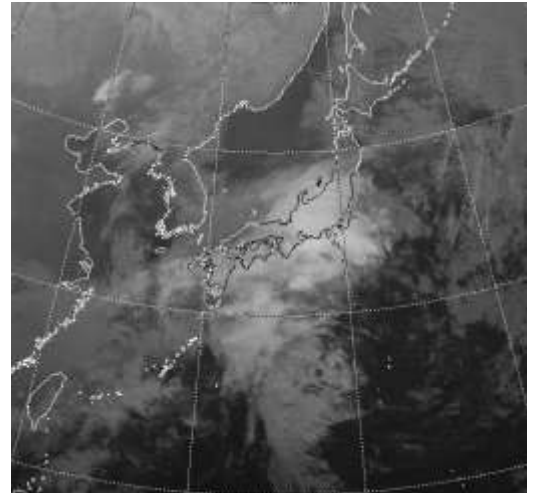
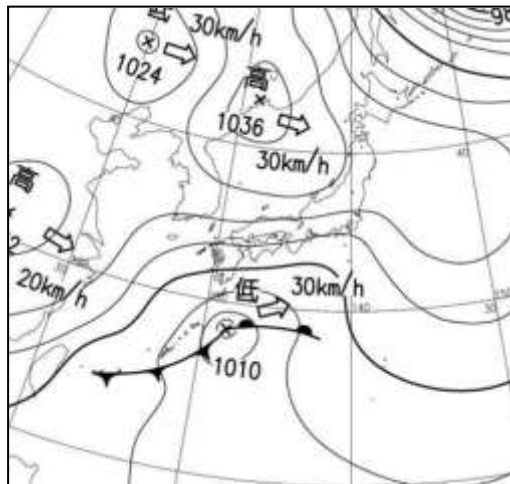
この低気圧の影響で、西日本から北日本にかけての太平洋側を中心に広い範囲で雪が降り、特に14日夜から15日にかけて、関東甲信及び東北地方で記録的な大雪となったところがあった。また、15日から19日にかけて、北日本を中心に大雪や暴風雪となった。

14日から19日までの最深積雪は、山梨県甲府市甲府で114cm、群馬県前橋市前橋で73cm、埼玉県熊谷市熊谷で62cmとなるなど、統計期間が10年以上の観測地点のうち、北日本と関東甲信地方の18地点で観測史上1位を更新した。風については、北海道えりも町えりも岬で32.9m/s、東京都三宅村三宅島で28.5m/sの最大風速を観測するなど、各地で暴風を観測した。

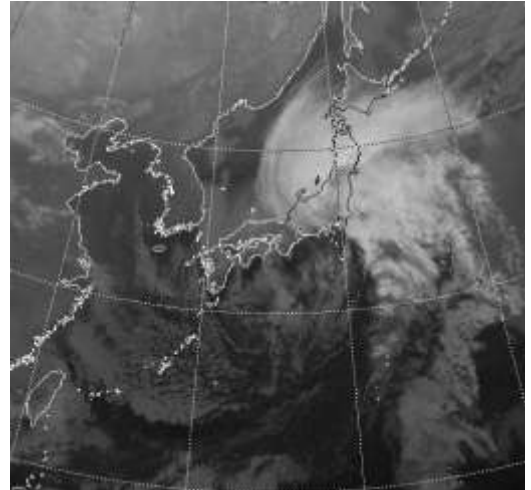
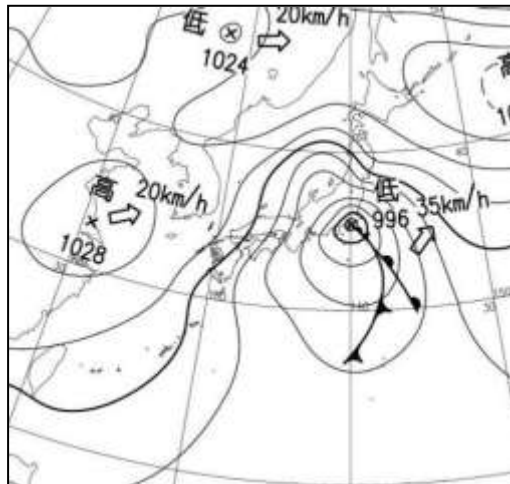
この大雪と暴風雪により、岩手県、秋田県、群馬県、埼玉県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、宮崎県で死者 24 名となったほか、近畿地方から北海道の広い範囲で住家損壊等が発生した。また、停電、水道被害、電話の不通、農作物の被害、道路の通行不能、鉄道の運休、航空機の欠航等の交通障害が発生した。特に関東甲信地方を中心に、道路への積雪や雪崩等による車両の立ち往生や、交通の途絶による集落の孤立が、複数の都県にわたって発生した(被害状況は、平成 26 年 2 月 21 日 11 時現在の内閣府の情報による)。

(2) 天気図、衛星赤外画像

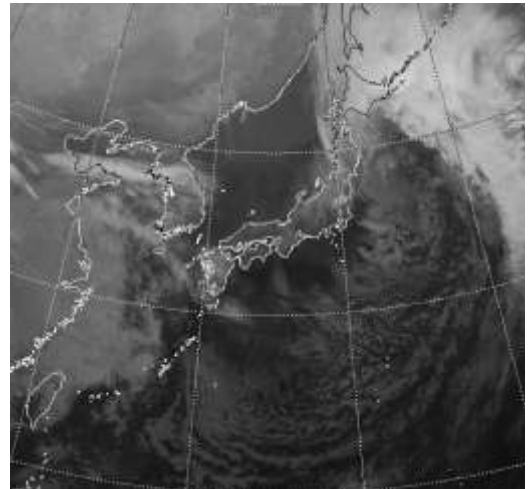
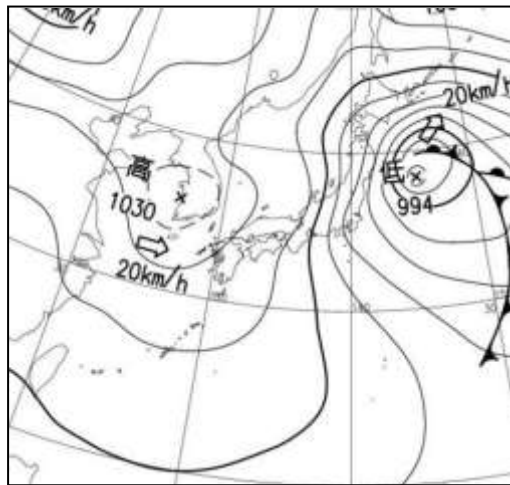
2月14日
9時



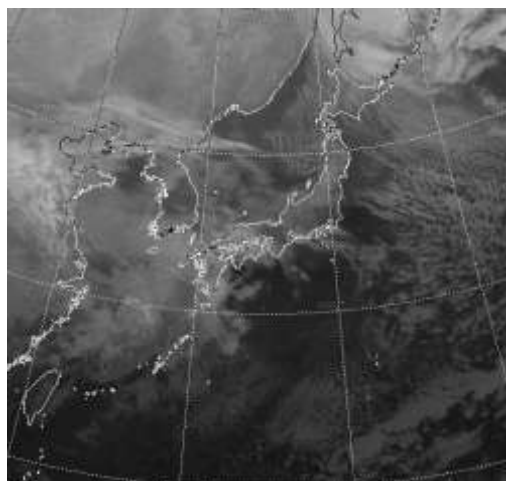
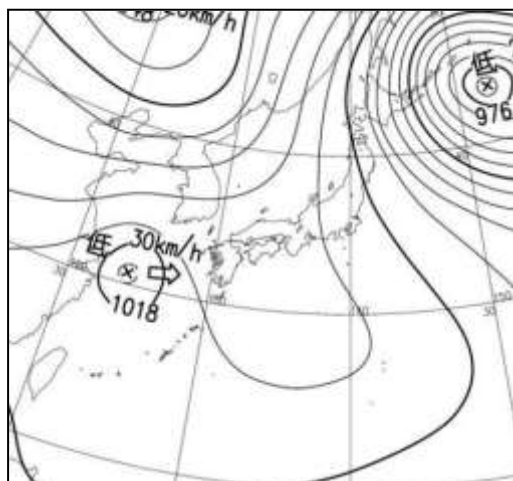
2月15日
9時



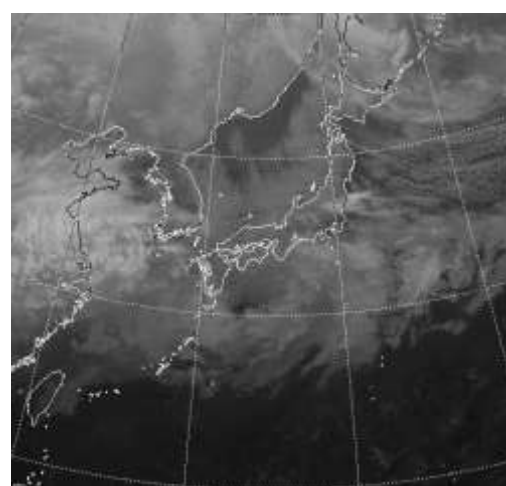
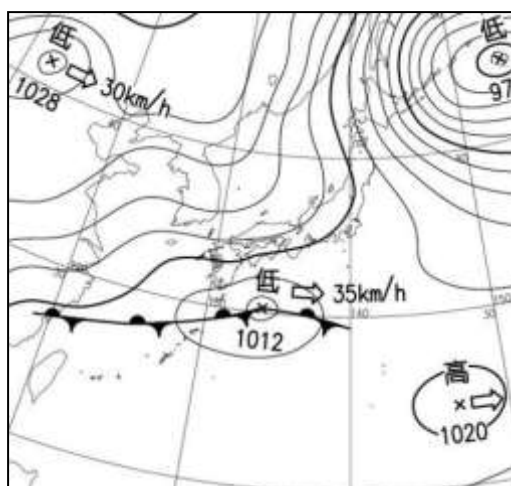
2月16日
9時



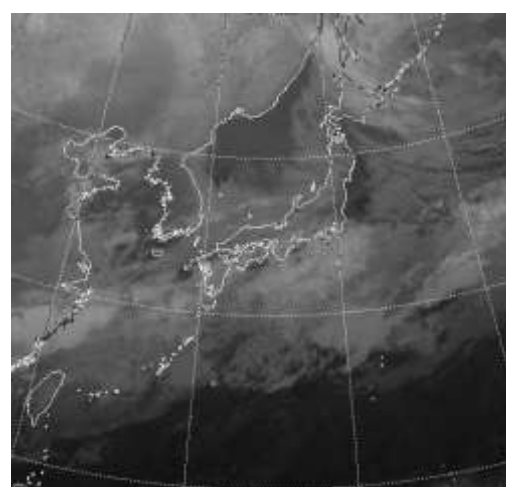
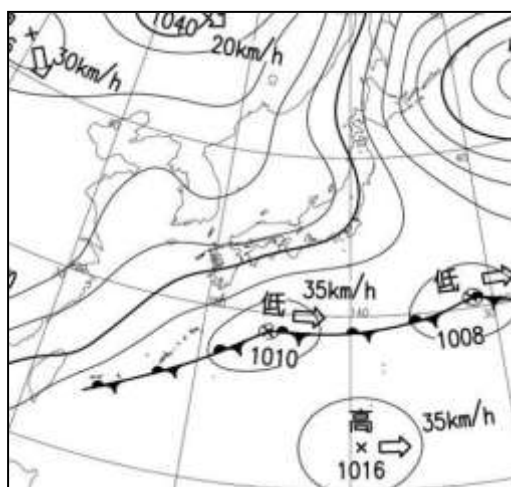
2月17日
9時



2月18日
9時



2月19日
9時



(3) 期間降雪量の多い方から20位 (2月14日0時～2月19日24時)

順位	都道府県	市町村	地点名 (ヨミ)	降雪量 [cm]
1	群馬県	吾妻郡草津町	草津 (クサツ)	128
2	長野県	飯山市	飯山 (イヤマ)	125
3	福島県	南会津郡檜枝岐村	桧枝岐 (ヒノエマタ)	122
4	青森県	青森市	酸ヶ湯 (スカユ)	115
5	山梨県	甲府市	甲府 (コウフ)	112
5	山梨県	南都留郡富士河口湖町	河口湖 (カワグチコ)	112
7	長野県	下高井郡野沢温泉村	野沢温泉 (ノザワオンセン)	111
8	福島県	南会津郡只見町	只見 (タヅミ)	110
9	山形県	最上郡大蔵村	肘折 (ヒジヅリ)	107
10	群馬県	利根郡みなかみ町	みなかみ (ミナカミ)	106
11	北海道	斜里郡斜里町	宇登呂 (ウトロ)	102
12	埼玉県	秩父市	秩父 (チチブ)	95
13	栃木県	日光市	土呂部 (トロボ)	91
14	福島県	南会津郡南会津町	南郷 (ナノコウ)	90
14	長野県	北佐久郡軽井沢町	軽井沢 (カルイザワ)	90
16	栃木県	那須郡那須町	那須 (ナス)	84@
17	群馬県	利根郡みなかみ町	藤原 (フジワラ)	83
17	長野県	上田市	菅平 (スガダaira)	83
19	山形県	西村山郡西川町	大井沢 (オオイサワ)	82
20	宮城県	仙台市青葉区	新川 (ニッカリ)	80
20	福島県	南会津郡南会津町	田島 (タジマ)	80

@ : 期間内に欠測が含まれる値

《参考3：降雪対応に関する要望書》

25八議席発第393号
平成26年3月13日

八王子市長 石森 孝志 殿

災害対策議会本部長
八王子市議会議員 小林 信夫



降雪対応に関する要望書

この度の記録的な大雪による市内全域での被害に対し、八王子市議会は平成26年2月17日「災害対策議会本部」を設置し、市の雪害対策活動を支援するとともに、議員それぞれが地域において雪害対応に取り組んだところである。

このほど、今回の取り組みを踏まえ、別紙のとおり要望事項を取りまとめたので、市民の安全・安心の確保のため、措置を講じられるよう要望するものである。

1. 除雪対応に関すること

- (1) 市民生活への影響が大きい場所（駅周辺、幹線道路、行政施設、病院等）から優先的に除雪を行うこと
- (2) 公共交通機関の早期復旧支援に努めること
- (3) 地域特性（中心市街地、住宅地、山間部、NT等）に応じた除雪に努めること
- (4) 不急な行政サービスから除雪作業業務への従事者の振替え等により、集中的に除雪にあたること
- (5) 地域や生活道路の除雪作業を行うための方策について、有償での対応も含めて検討すること

2. 雪の仮置き場、雪の処分に関すること

- (1) 仮置き場を市内各地域に計画的に配置すること
- (2) 道路、集合住宅、中心市街地、公園などに集められた雪の回収を行うこと
- (3) 集めた雪を河川に流して処理できるよう関係機関と調整すること
- (4) 排水溝や防火水槽の上に雪が集積されないよう対策を講じること

3. 対策本部に関すること

- (1) 初動対応の迅速化を図ること（過剰と思われても準備をすべき）
- (2) 降雪予報段階で対策本部を設置すること
- (3) 市長の権限を強化するための法的整備を検討すること（路上駐車車両の撤去など）
- (4) 地域毎に対策本部を設置すること

4. 協力体制の構築に関すること

- (1) 国、都、市の連携強化を図り、役割分担を明確に規定するとともに、費用弁償などについても体系的に整備すること
- (2) 関係各機関（警察、消防、電気、電話、ガス、公共交通）との連携強化を図ること
- (3) 町会自治会との連携を整理し、協力要請を行うこと（自宅前、通学路等）
- (4) 指定管理者との連携を整理し、協力要請を行うこと
- (5) 市内に事務所のある企業との連携を整理し、協力要請を行うこと
- (6) 学生や生徒への協力要請を行うこと
- (7) 公共工事を請け負っている業者との連携を整理し、協力要請を行うこと
- (8) 災害弱者である1人暮らしや、高齢者世帯へのサポート体制を構築すること
- (9) 除雪ボランティアによる支援体制を構築すること
- (10) 協力主体への費用弁償にも配慮した対策を講じること

5. 公共交通機関に関すること

- (1) バス事業者、電車事業者との連携を強化し、運行状況や運休理由、運行開始の目途等、市民に的確に情報提供できる方策を講じること。

6. 情報収集・情報提供に関すること

- (1) 降雪に関する情報や除雪に関する情報を細やかに提供すること。併せて、その他市民生活に影響する情報（道路状況・ごみ収集等）に関しても提供すること
- (2) 多様な情報機器を活用した情報提供を行うこと
- (3) 地域に居住している職員を担当職員として当該地域ごとに割り振り、情報収集に努めるなど雪害状況、交通状況等を迅速に本部に集約する仕組みを構築すること
- (4) 集約した情報を迅速かつ確実に市民に周知できる体制を構築すること
- (5) 今回の降雪に対する意見・感想等を広く市民から求めること

7. 除雪用重機や除雪車（機）等の確保に関すること

- (1) 委託業者だけでなく、重機を所有する市内業者が除雪作業に従事してくれるよう協定を結ぶなど方策を講じること
- (2) 自主防災や町会・自治会による小型除雪機購入時の支援を行うこと。また、購入後のメンテナンスも含め管理状況の把握を行うこと
- (3) 近隣自治体との連携による除雪車の配備等について検討すること
- (4) 自主防災組織への支給物に除雪スコップ等を追加すること

8. 罹災者に関すること

- (1) 罹災証明の用途について、ホームページで説明すること
- (2) 車庫、カーポート、ベランダ、テラス等の破損被害の状況について、情報を集約し被害の把握に努めること
- (3) 市として見舞金の支給等を行うこと
- (4) 農業被害に対して実態を把握し、適切な補償・支援策を講じること

9. 市民への意識啓発に関すること

- (1) 市民に、2、3日分の食糧の備蓄を促すなど、日頃から防災意識の啓発に努めること
- (2) 雪かきのマナー等に関して基本的なルールを定め周知に努めること
- (3) 冬季に発行する広報により、降雪への注意喚起を図ること

10. 安全対策に関すること

- (1) 通学路の安全を確保し、安全性が確認できた時点で利用させること
- (2) 積雪による公共施設の損傷の有無について確認し、安全を確保すること
- (3) 市内アーケードの総点検を行い、安全を確保すること
- (4) 積雪の多かった箇所や凍結危険箇所については、ピンポイントで対策を講じること
- (5) 塩化カルシウムを希望者が入手し易いよう、各所に配備すること

11. 大雪・雪害対策マニュアルの作成に関すること

- (1) 上記の要望事項を踏まえ、降雪前、中、後と段階別に対策を明確にするとともに、本市の地域特性（市街地、住宅地、山間部、NT等）に対応した実践的なマニュアルを早急に作成すること

- (2) 職員、市民だけでなく、国、都、関係各機関、町会・自治会、事業者など様々な主体に対しても周知徹底を図ること
- (3) その他マニュアルで規定すべき事項
 - ・ 除雪作業を完了させる予定日数
 - ・ 除雪作業人員の効率的かつ柔軟な配置
 - ・ 対策本部の構成員

12. その他

- (1) 2月8日の降雪により都知事選挙の投票率が大きな影響を受けた。投票所の増設や、緊急時の対応について検討すること。

平成 26 年 6 月

八王子市生活安全部防災課

TEL 042-620-7207 (直通)

FAX 042-626-1271

